

石巻底びき網漁業復興プロジェクト

宮城県石巻市

事業実施者：渡波漁船漁業協同組合

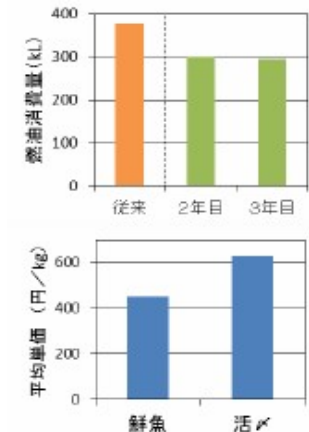
使用船舶名：第三福寿丸(19トン)

支援期間：平成25年2月1日～平成27年1月31日

(沖合底びき網漁業)

(取組の内容)

- 漁船の合理化: 低抵抗型船型, 大口径プロペラ, 2段減速逆転機を導入し、燃油使用量を削減
- 高鮮度化①: 冷海水製造装置を導入し、マダラ・スケトウタラなどの高鮮度化により3%の価格向上
- 高鮮度化②: ヒラメ, マコガレイ, アイナメ等の活〆・脱血処理により価格向上
- 労働環境改善: ベッド及び床スペース拡大と居住区へ冷暖房の整備



(事業の成果)

- 燃油消費量は、計画(377kl/年)に比して、2年目20%(76kl)、3年目22%(82kl)削減された。**
- 販売単価は、同型船比で月平均8～16%アップした。
- ヒラメ、マコガレイ、アイナメ等の高鮮度処理により**販売単価が鮮魚と比較し、30%から50%アップした。**
- ベットおよび床のスペースは、従来に比べ、それぞれ1.7倍、2.6倍となった。
- 総経費は、2年目、3年目とも計画を上回ったが(2年目116%, 3年目119%)、水揚げ高も計画を上回った(2年目127%, 3年目122%)ことから、**償却前利益は計画(11百万円、2年平均)を9百万円上回った。**